

もしものときにも、きっと役立つ1冊です。

保存版

快適ガスライフの 基礎知識

安心してガスをお使いいただくために



ガスのある暮らしには未来がある



ガスマート!

室蘭ガス株式会社

TEL (0143) 44-3156

室蘭市日の出町2丁目44番1号
<https://www.murogas.co.jp/>



お届けしているガスの種類は **LPG(100MJ)** です。

暮らしを守るガスの安全ルールをお伝えします。

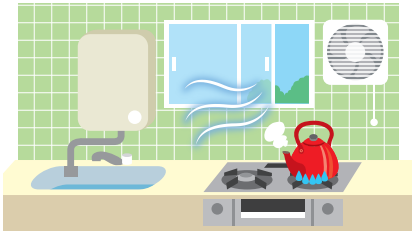
ガスを使う上での大切な生活習慣。 それが“換気”です。

ガスの炎に限らず、火が燃えるためには新鮮な空気（酸素）が必要です。

普段の環境でガスを燃やすと、生活に必要な“熱”が発生すると共に、二酸化炭素（CO₂）が発生します。二酸化炭素は、炭酸飲料の成分でもあり、人の吐く息にも含まれているものですので、基本的には問題のないものです。

ところが、閉めきった室内で火を使い酸素が不足してくると、不完全な燃焼により二酸化炭素が作られず、人体に有害な一酸化炭素（CO）が多く発生する可能性があります。

これを防ぎ、安全に火を使うために必要なのが“換気”。排気を含んだ室内の空気を外気と入れ替えて、燃焼に必要な酸素を取り入れることが大切です。



ガスの炎の色が“青い”ことは、正しく燃焼している証拠。炎の色が“赤”であったり“オレンジ”になっている場合は、不完全燃焼となっているサインです。



一酸化炭素中毒に 注意しましょう



まがいち多くの一酸化炭素が発生し、それを体内に取り入れてしまうと一酸化炭素中毒になるおそれがあり、大変危険です。一酸化炭素とは一体どのようなものか、知っておくことも大切です。

- 一酸化炭素は、無色・無臭。気づきにくく、毒性は強力で、少量の吸引でも危険です。
- 軽い中毒症状は頭痛・吐き気など、風邪に似ていますが、手足がしびれて動けなくなることがあります。
- 重症になると、脳細胞を破壊したり、意識不明になったり、死亡にいたることもあります。

空気中の一酸化炭素濃度（CO(%)）と吸引時間による中毒症状

CO(%)	呼吸時間による中毒症状
0.04	1～2時間で前頭痛や吐き気、 2.5～3.5時間で後頭痛
0.16	20分で頭痛・めまい・吐き気、2時間で死亡
0.32	5～10分で頭痛・めまい・30分で死亡
1.28	1～3分で死亡

ガス・CO 警報器

まがいちガスもれや不完全燃焼による一酸化炭素が発生した場合、ランプと警報音でお知らせします。24時間ガスもれやCO発生を監視する暮らしの見張り番です。また、火災が発生したときに、お知らせする機能のついた警報器もあります。



交換期限（5年）が過ぎる前にお取り替えが必要です。ガスの種類によってはガス警報器とCO警報器をそれぞれ設置する必要があります。

異常に気がついたらすぐに連絡。

ガス臭い、警報器が作動したなど何か気がかりなことがある場合は、ガス事業者に連絡しましょう。

ガス事業者は24時間・365日の保安体制で緊急時に備えています。

不完全な燃焼は、換気が不十分である場合のほか、誤った方法でガスを使用した場合などにも発生します。

本書では皆さまがガスをお使いになる場面での、正しく使用するポイントをまとめておりますので、ぜひご確認ください。

目次

ガスの安全な使い方	3
キッチン編	3
バスルーム編	4
お部屋編	5
ガス機器の点検	6～7
ガス機器の設置	8～10

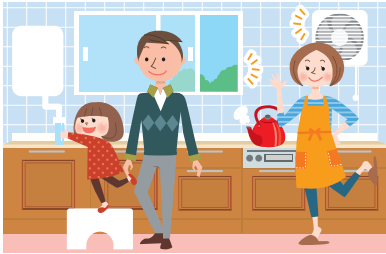
ガス設備の取り替え	11
もしものときの対応	12～13
ガス臭い場合	14
ガスでもっと暮らし快適に	15
冬季のガス機器使用について	16
小型湯沸器をお持ちのお客さまへ	17
一酸化炭素中毒について	18～19
ガスを安心して使うために	20



キッチンの安全ルールってなに？

ルール 1 ガスを使うときは“換気”。

換気扇を回すか、窓を開けましょう。



換気しない場合、燃焼に必要な空気（酸素）が不足して不完全燃焼となり、一酸化炭素中毒の原因になるおそれがあります。

ポイント

- 小型湯沸器は安全装置が付いていても必ず換気をしましょう。
- コンロや小型湯沸器が使用中に止まったら、再点火を繰り返さずガス機器購入店やメーカーへ点検を依頼してください。
- 換気扇が汚れていると換気能力が低下します。定期的に点検・清掃してください。

ルール 2 調理中はガス機器から目を離さない。

別の用事がある場合は、いったん火を止めましょう。



揚げものをしているときやグリルを使用しているときにその場を離れると、過熱に気づかず火災の原因になるおそれがあります。

ポイント

- 安全装置が付いていても、自分の目で確認することが大切です。
- 揚げもの調理は、天ぷら油過熱防止装置（センサー）の付いている側で行ってください。
- コンロの火が着衣に着火しないようご注意ください。
- メーカー純正品以外の部品（ガスコンロ用省エネルギーなど）の使用は、不完全燃焼による一酸化炭素中毒を起こす原因となる場合がありますので、注意しましょう。



ルール 3 ガス機器のまわりに燃えやすいものを置かない。

キッチンペーパーやタオルなどをガス機器のまわりに置かないようにしましょう。

機器側方や上方には
タオル掛けなどは
設置しないでください。



炎や排気の熱で発火し、火災の原因になるおそれがあります。

ポイント

- ガス機器は取扱説明書の記載に従い、周囲との離隔距離を正しくとってください。
- 屋外機器の排気口付近にも可燃物を置かないようにしてください。



わが家のお風呂は大丈夫だろうか



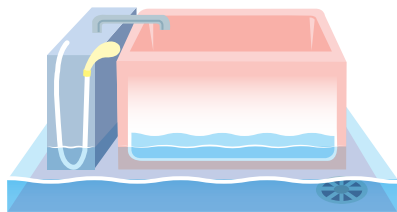
ルール 4 空だき注意。沸かす前に水栓確認。

追い焚きや湯沸しの際は、水量が十分あることを確認しましょう。



水量が足りないうまま、湯沸しや追い焚きを行うと、過熱によりふろがまを傷めるだけでなく、火災の原因となるおそれがあります。

点火しにくくなった場合は無理に点火せず、点検を依頼しましょう。



未燃ガスに異常着火し、ガス機器を損傷するおそれがあります。

ポイント

- 点火がうまく行われないと、点火操作により放出される少量のガスが、一時的に機器内部にたまります。
- そのまま繰り返し操作を行うと未燃ガスが徐々にたまるため、点火された際に異常着火し、衝撃で機器が変形するおそれがあります。
- ふろがまが水につかると点火しにくくなる場合もありますので、お風呂の排水口は、こまめにお掃除してください。

ルール 5 小型湯沸器をお持ちの場合のルール。

小型湯沸器は、ふろ・洗濯機へのお湯はり、シャワーや洗髪に使わないでください。



小型湯沸器を長時間連続使用すると、換気が足りず、一酸化炭素中毒の原因となるおそれがあります。

ポイント

小型湯沸器は燃焼に必要な空気を多く使います。長時間連続使用すると、換気を行っても燃焼に必要な空気が不足するおそれがありますので、絶対にお止めください。

ルール 6 衣類乾燥機をお持ちの場合のルール。

油分の付いた衣類を乾燥させないでください



<油分の例>
美容オイル、食用油、機械油、
ドライクリーニング油、ベンジン、
シンナー、ガソリン、セルロース系樹脂など



油の酸化発熱により自然発火し、火災の原因となるおそれがあります。

ポイント

- 油分の付着した衣類は、洗濯後でも油が完全に落ちていない場合があります。
- 衣類によっては乾燥機が使用できないものもあります。ご使用になられる前に衣類の「取り扱い絵表示ラベル」をご確認ください。



家族の安全はみんなで守りたい

ルール 7 暖房中も ときどき“換気”。

1時間に1～2回程度、新鮮な空気に入れ替えましょう。



換気しない場合、燃焼に必要な空気（酸素）が不足して不完全燃焼となり、一酸化炭素中毒の原因になるおそれがあります。

ルール 8 暖房機器は十分な距離をとって使う。

衣類などの燃えやすいものやスプレー缶を近くに置かないでください。
温風を長時間直接体にあてないでください。



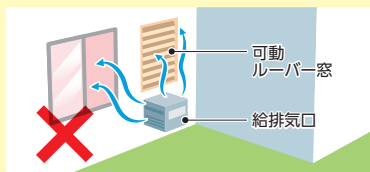
燃えやすいものやスプレー缶が高温になり、発火・爆発するおそれがあります。また、温風を長時間直接体にあてると低温やけどになるおそれがあります。

ポイント

- 特に小さいお子さまなど、自分の意思で動けない方がいるご家庭では、長時間温風があたる場所で寝かせないように注意してください。

【キッチン、バスルーム、お部屋共通】ガス機器・給排気口の付近に窓がある場合

ガス機器使用中は、窓を閉めましょう。



排気が室内に流入し、一酸化炭素中毒の原因となるおそれがあります。

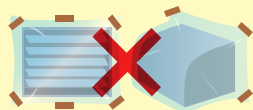
ポイント

- 燃焼した排気を直接屋外へ排出するガス機器や、屋内機器の排気口付近にある建物開口部（窓、換気口など）から排気が室内に流入し、不快なおいがしたり気分が悪くなるおそれがあります。
- 設置状況によっては、ガス機器等の移設が必要な場合があります。

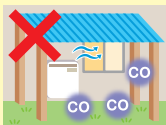
工事を行う場合は、機器の使用にご注意ください。

ガス機器・給排気設備をビニールシートなどで覆った場合は、ガス機器を使用しないでください。

屋外に設置されたガス機器や屋内ガス機器の排気口を増改築により屋内化したり波板などで囲わないでください。



※増改築工事などで排気筒を取り外したり、塗装工事などで給排気設備を覆われることがあります。



排気が屋外に排出されず、一酸化炭素中毒の原因となるおそれがあります。



ガス機器が正常に着火しない場合、機器内部にたまった未燃ガスを損傷に異常着火し、ガス機器を損傷するおそれがあります。

ガス機器の点検、最近やったかな？



ルール 9 ガス機器は定期的にお手入れを。

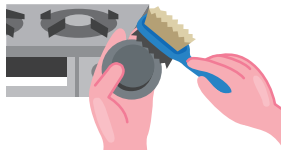
取扱説明書をよく読み、安全な使用や日常管理の方法を確認しましょう。
ガス機器や給排気設備は、ときどき清掃、点検しましょう。

暖房機器



機器背面にあるエアフィルターを定期的にお掃除しましょう。

テーブルコンロ



バーナーが目詰まりしないよう、時々器具ブラシなどで掃除しましょう。

小型湯沸器



小型湯沸器の上部（防熱板の下）に汚れや詰まりがないかチェックしましょう。汚れや詰まりがある場合や使用中に火が消えてしまう場合は、メーカーまたはガス機器購入店に点検・修理をお申し込みください（有償）。



ガス機器ご使用時に不快な臭い、炎のあふれ、機器本体の異常な過熱、異音、排気口の周辺がすすけているなどがあれば、ただちに使用を中止し、メーカーまたはガス機器購入店に点検・修理をお申し込みください。不完全燃焼による一酸化炭素中毒または異常燃焼による火災の原因となるおそれがあります

排気筒（煙突）

排気筒（煙突）内に鳥が巣を作っていないか？

排気筒（煙突）のはずれ、穴あき、詰まりはありませんか？

地震・台風・強風・大雨のあとは、排気筒（煙突）のはずれや、壊れがないかどうか確認してください。

給気口がふさがっていませんか？



いずれも放置しておくと、ガス機器が正常に燃焼しない、あるいは排気が室内に流入するなどして、一酸化炭素中毒の原因となるおそれがあります。

ポイント

- 異常を見つけた場合は、ただちに使用を中止し、ガス機器購入店に点検・修理をお申し込みください。
- 隠べい部に設置されている排気筒（煙突）も点検してください。腐食により穴が開いたりはずれたりすると、排気が室内に入り込み、一酸化炭素中毒の原因となるおそれがあります。

こんなところも要チェック



ひび割れや固くなったもの、古いゴム管はお取り替えてください。



使わないガス栓にはガス栓キャップをかぶせてください。*

※ガス栓キャップは、お使いにならないガス栓の口部に傷や汚れがつくことを防止するためのものであり、ガスを止めるために設置するものではありません。
お使いにならないガス栓は、誤って開けないように注意してください。



特別な点検制度があるんだって！

※ガス機器の安全性向上に伴い、2021年8月以降、ガス機器は特定保守製品から除外され、長期使用製品安全点検制度の対象外となりました。詳細は、各ガス機器メーカーのHP等をご確認ください。

今一度ご確認ください

「特定保守製品」をご購入されたお客さまは、「長期使用製品安全点検制度」の対象となります。

製品が古くなると部品等が劣化（経年劣化）し、火災や死亡事故を起こすおそれがあります。経済産業省の「長期使用製品安全点検制度」では、消費者自身による点検が難しく、経年劣化による重大事故のおそれが多い以下の製品を特定保守製品に指定しています。

対象製品を購入した際は、所有者登録を行って下さい。登録すると適切な時期にメーカーから点検通知が届きますので、点検を受けましょう。

<p>対象商品 (特定保守製品)</p> <p>※特定保守製品には、機器本体またはリモコンに「特定保守製品」と表示されています。</p>	<p>都市ガス・LP ガス</p> <p>屋内式ガス瞬間湯沸器 屋内に設置してあるガス瞬間湯沸器</p>	<p>屋内式ガスふろがま 屋内に設置してあるガスふろがま</p>	<p>石油</p> <ul style="list-style-type: none"> ●石油給湯器 ●石油ふろがま ●FF式石油温風暖房機
	<p>電気</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ビルトイン式電気食器洗浄機 ●浴室用電気乾燥機 		

購入から点検までの流れ

- 屋内に設置されているガス機器のほか、屋外に設置されている製品や平成21年4月1日より前に製造・輸入された対象製品についても、点検可能ですので、メーカーにお問い合わせください。（製品によっては、点検結果で整備が必要な場合に整備用部品がない場合があります）
- 賃貸住宅・アパートなどで製品を家主さまが設置・所有している場合には、家主さまが所有者登録・点検の申し込みをしてください。
- 所有者登録をいただいた情報は、点検通知、リコールなどの製品安全に関するお知らせに使用いたします。
- 点検時期の通知を受けるためには、所有者情報の正確な登録が必要です。登録が済んでいない場合や変更が必要な場合には早めにメーカーへお知らせください。
- 所有者登録にご不明な点がございましたら、特定製造事業者（メーカー）へお尋ねください。
- ガス製品を安心して長くご使用いただくためにも、法定点検の他に定期的な点検をおすすめします。

特定製造事業者 連絡先

パーパス (株) 点検受付センター	0120-323-884
(株) ノーリツ コンタクトセンター	0120-911-026
(株) ハーマン 点検受付センター	0120-780-137
(株) パロマ お客様センター	0120-378-860
リンナイ (株) 製品点検センター	0120-493-110

本制度のお知らせは、経済産業省ホームページでご覧いただけます

制度については

http://www.meti.go.jp/product_safety/

もしくは [製品安全ガイド](#) [検索](#)

上記以外のメーカーの場合：一般社団法人 日本ガス石油機器工業会 03-3252-6101

ガス機器を選ぶ際の 注意事項は何だろう？



ルール 10 ガス機器を買う前にガスの種類を確認。

当社がお届けしているガスは、**LPG「100MJ」**です。
ガスの種類にあったガス機器を購入し、
使用してください。



ガスの種類とあっていないと、正常な燃焼
をせず、不完全燃焼による一酸化炭素中毒
または異常燃焼による火災の原因となるお
それがあります。

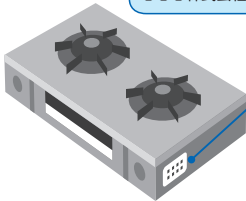


ポイント

- ガス機器には、適応するガスの種類を示したラベルが貼られて
います。
- 新しくガス機器をお買い求めになるときのほか、今までご使
用になられていなかったガス機器をお使いになるときも、ガ
スの種類とあっているか、必ず確認してください。
- お引越しの際は、お引越し先のガスの種類を確認してくださ
い。(ガスの種類は、引越し先でご契約されたガス事業者から、
通知されます) 現在当社がお客さまにお届けしているガスに
は一酸化炭素は含まれていません。

AB-120-(a)1
LPガス用○○○
○○○kW(○○○kcal/h)
201704-0001
○○○株式会社

型式
適応するガスの種類
ガス消費量
製造年月・製造番号
メーカー名



ルール 11 ガス機器の設置は販売店へ相談。

固定して使用するガス機器は、お客さま
ご自身で設置しないでください。



ガス機器が正しく設置されない場合、接続
箇所からガスがもれ、着火・爆発の原因と
なるおそれがあります。

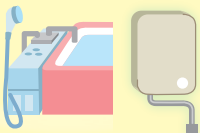


また、燃焼した排気ガスが屋内に入り込み、
一酸化炭素中毒となるおそれがあります。

ポイント

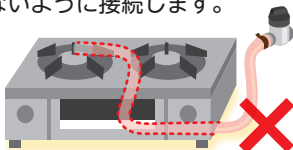
- 固定して使用されるガス機器の設置には、安全性などの面から、最新の知識や専門的な
設置技能が必要です。
- 特に屋内にふろがまなど一部のガス機器を設置する場合は、法令により適正な給排気設
備の設置が義務付けられており、工事を行う場合は国で定められた資格が必要です。対
象となるガス機器または設置工事の方法は、ガス機器販売店にお問い合わせください。
- 圧縮ガス(酸素・空気など)を併用する特殊な機器をご使用になられる場合は、事前に
ガス事業者へ連絡してください。

固定して使用する ガス機器の場合の一例



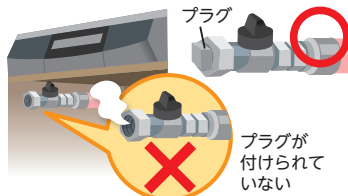
給湯器・ふろがまなど

接続具がコンロ下などの高温部に
近づかないように接続します。



ゴム管は、適切な長さで使用してください。

不使用のネジガス栓には、必ずプラグを取り付けます。



プラグが
付けられて
いない

使われていないネジ
ガス栓にはプラグを
取り付けてください。
※プラグが取り付け
られていない場合
はガス事業者にご
連絡ください。

接続のしかたは？

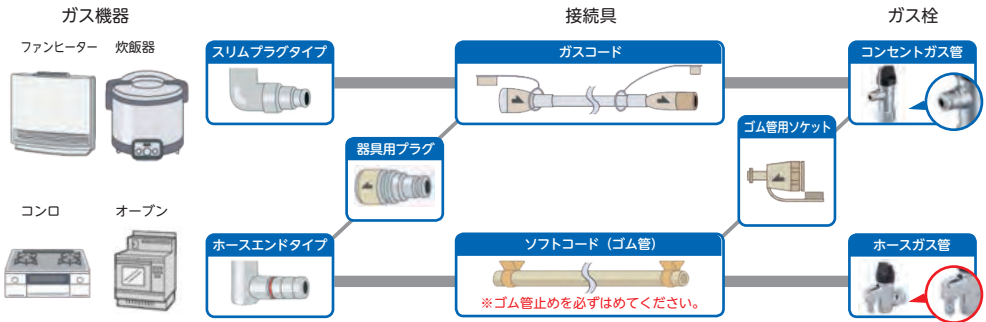


ルール 12 ガス機器を接続するときは“形”と“大きさ”を確認。

ガス機器・ガス栓の接続口のタイプはそれぞれ2種類。接続器具をガス機器・ガス栓へつなぐときは形状やサイズを確認し、それぞれにあったものを使用してください。



形状やサイズがあっていないものを接続した場合、接続箇所からガスがもれ、着火・爆発の原因となるおそれがあります。



ポイント

ソフトコードは大きさが9.5mmのタイプと13mmのタイプがあります。

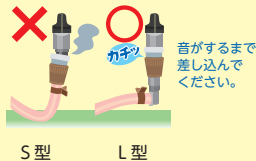
- 記載されているガス機器は一例です。ガス機器を購入される際に、接続口の形と大きさをご確認頂き、必ず取扱説明書をよくお読みいただいてから、接続してください。
- 上記以外の接続方法については、ガス機器購入店へお問い合わせください。

ガス栓への取り付け方

〈コンセントガス栓〉

接続面にごみなどの異物が無いことを確認して確実に接続してください。

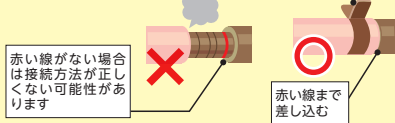
ソケットに無理な力がかからないよう適切な種類を選んでください。



〈ホースガス栓〉

ゴム管は赤い線までキッチリ差し込んでください。

ゴム管止めでキッチリ止める



ガス機器とガス栓をつなぐ場合は、接続具を必ずガス機器側からつないでください。

誤った接続による事故が発生しています。

大きさ9.5mmのホースエンドタイプのテーブルコンロ接続口に、誤って大きさ13mmのソフトコードを接続したためガスもれが発生。テーブルコンロの火をつけた際、もれたガスに引火し接続具を焼損した。

●接続不可例



テーブルコンロを使用する際に、ホースガス栓に誤ってゴム管用ソケットをつなげたソフトコードを接続していたため、ガスもれが発生。テーブルコンロ使用中に、もれたガスに引火し、接続具を焼損した。

●接続不可例



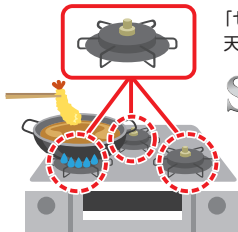
最新のガス機器、かなり進化してるね



より安全性能の高い機器へのお取り替えをおすすめします。

センサーコンロ

現在製造されているコンロは、すべてのバーナーに、煮こぼれや点火ミスなどで火が消えたときにガスをストップする立ち消え安全装置、天ぷら油の温度が約250℃になると、ガスを止め火災を防止する調理油過熱防止装置、消し忘れ消火、早切れ防止機能など、安全便利機能を搭載しています。

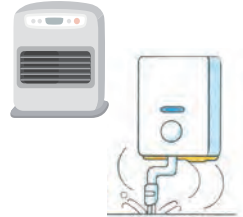


「センサー」で
天ぷら油の過熱などを防止

Si センサーコンロ

不完全燃焼防止装置付 ※1

ファンヒーター
フィルターの目詰まりなどで新鮮な空気が不足したら、異常を検知し自動的にガスを止めます。



小型湯沸器
ほこりによる熱交換器の目詰まりなどがあつたとき、炎の異常を検知し、自動的にガスを止めます。

不完全燃焼防止装置付

使用方法

- (点火・出湯)(消火・出湯停止)
- フラッシュボタンをいっしょに押し続けてください。バーナーに着火しお湯が出ます。(この位置では水が出ます。)
- 再度フラッシュボタンを押してください。お湯(水)が止まり熄火します。

※1. 不完全燃焼防止装置付の機器でも、お使いになるときは必ず換気してください。

接続されているホースは早めにお取替えをお願いします。

適用機種	ガス栓	接続具	ガス機器
ガステーブルコンロ	ホースガス栓	ホースガス栓 ゴム管止め ゴム管 ゴム管止め	●ホースエント
ガス炊飯器	ホースガス栓	ゴム管用ソケット ゴム管 ゴム管用プラグ 器具用ソケット	●カシオセレクトド ●スリムタイプ ●タイマーなしガス炊飯器
	ガス栓用プラグ	ガスコード	●スリムタイプ ●タイマー付ガス炊飯器

※使用されているゴム管に傷や溶けなどの異常がみられるときはお取替え下さい。
※ガス器具により、耐久性が向上したガスコード接続をお勧めします。

金網ストーブはファンヒーターへのお取り替えをおすすめします。

お取り替えおすすめ

- 赤熱面（金網部分）に変形や、やぶれ等の異常がある場合は、不完全燃焼を起こし、一酸化炭素（CO）中毒の原因となるおそれがあります。
- 不完全燃焼防止装置付のファンヒーターなどへお取り替えください。
- 暖房シーズン前に点検をおすすめします。

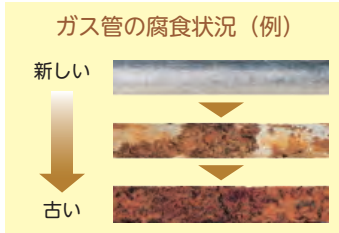




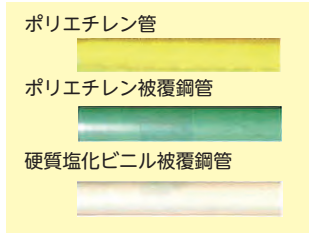
古いガス設備や機器、心配だなあ

ルール 13 古くなったガス管は交換。

土の中に埋められている白ガス管（亜鉛メッキ鋼管）は、交換しましょう。



場所に合わせ最適なガス管にお取り替えます。



ポイント

- お取り替えをご検討いただきたいのは、**お客さまの所有物となる敷地内のガス管**です。お取り替えは有償で行わせて頂きます。
- 現在ガス管の材料として使用されているポリエチレン管や被覆鋼管は、腐食や地震に強く、地震対策としても有効です。場所に合わせた、最適なご提案をさせていただきますので、ガス事業者までお問い合わせください。

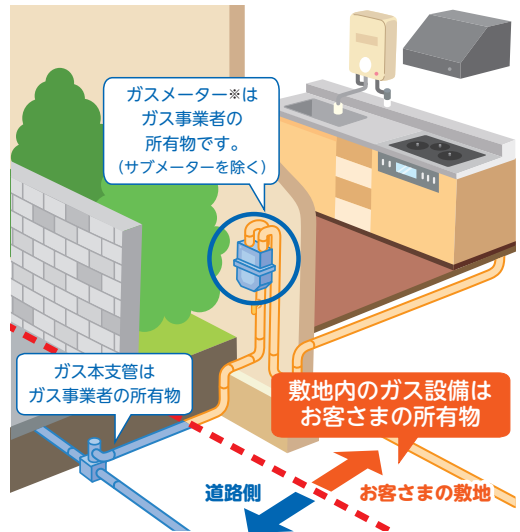


〈白ガス管とは？〉

鋼管表面に亜鉛メッキを施したガス管をいいます。白ガス管は、強度・耐食性・施工性等を兼ね備えたガス管の材料として昭和20年代から一般的に使用されてきました。

長年土の中に埋められた白ガス管は、土の性質や水分など影響により徐々に腐食が進行し、ガスもれが発生する場合があります。

※土質や環境により腐食の度合いが異なります。

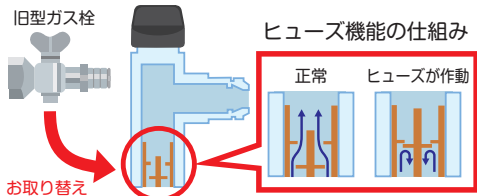


※ガスメーターは計量法に基づき、検定満期となる前にガス事業者がお取り替えいたします。(10年または7年)

※改装や敷地内を掘る工事をされるときはガス事業者へご連絡ください。安全に工事して頂くために、アドバイスさせていただきます。

古いタイプのガス栓もお取り替えをおすすめします。

現在新しく取り付ける場合に使用されているヒューズガス栓は、まんいちゴム管がはずれたりした場合、自動的にガスを止める機能がついています。



もし大きな地震がおきたらどうする？



ルール 14 地震のときは、身の安全を最優先に。

まずは身の安全を確保しましょう

まずは机の下に身を隠すなどをしてください。震度5相当以上の地震の場合は、ガスメーター（マイコンメーター）が自動的にガスをしゃ断します。あわてず落ち着いて行動しましょう。



揺れがおさまったら ガスの火を消してください

ガス機器を使用していた場合、ガス機器のスイッチを止めて、ガス栓を閉めてください。



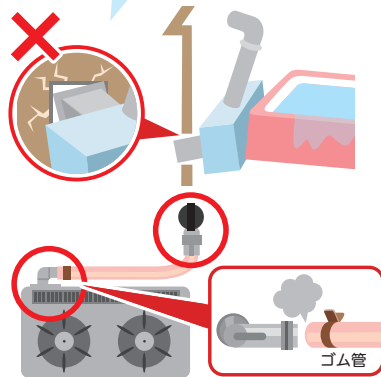
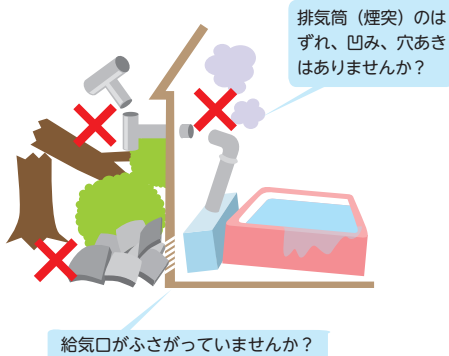
地震のあと、ガスをふたたび使うとき

次のことを確認してください。

- ☑ ガス機器周囲でガスの臭いがしないか
- ☑ ガス機器本体に変形・破損など異常がないか
- ☑ 煙突式などの屋内外の給排気設備に異常がないか（はずれ・凹み・穴あきがないか目視確認してください。）

- ☑ ガス接続具が正しく接続されているか（接続具に外れがないか目視確認してください。）

壁との間にすき間は
できていませんか？



● 異常を確認した場合は、火災や一酸化炭素中毒など、事故のおそれがありますので、メーカーや販売店などへ点検・修理を依頼するとともに、ガス事業者へご連絡ください。

● ガス機器を使用していて目がチカチカしたり、気分が悪くなったり、不快な臭いがした場合は、ただちにガス機器の使用を中止し、修理の手配をしてください。

もしガスが止まったらどうする？



ルール 15 ガスが出ないときは、ガスメーターを確認。

ご家庭の全てのガス機器が使えない場合は、ガスメーターの表示ランプを確認してください。

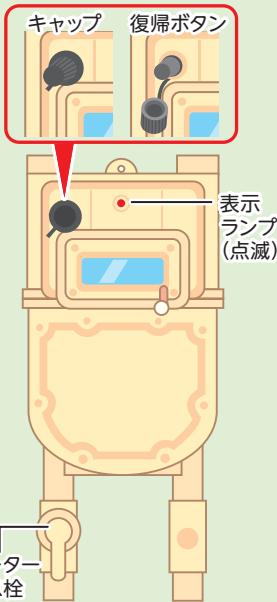
点滅している場合は、**周囲がガス臭くないことを確認**してから、復帰の手順を行ってください。

万一ガス臭い場合は、復帰の手順を行わず、すぐにガス事業者へ連絡してください。

ガスメーターには、次のような場合に安全装置がはたらいて自動的にガスを止める機能があります。安全装置がはたらいた場合、表示ランプ（赤）が点滅します。

- 大きな地震が発生した場合
 - 多量にガスがもれた場合
 - ガスの圧力が所定の値より低くなった場合
 - 機器を長時間使用した場合※
- ※お湯の沸かしすぎや鍋がこげるのを防止するものではありません。

復帰の手順



器具栓を閉じるか、運転スイッチを切り、すべてのガス機器を止めてください。
屋外の機器も忘れずに。



使っていないガス栓は閉まっていることを確認してください。このときメーターガス栓は閉めないでください。



復帰ボタンのキャップを手で左に回し、キャップを外してください。



復帰ボタンを奥までしっかり押して、表示ランプが点灯したらすぐに手を離す。

復帰ボタンが元に戻り、表示ランプが再度点滅します。その後、キャップを元に戻しておきます。

約3分間お待ちください。

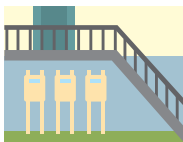
この間ガスもれがないか確認していますので、ガスを使わないでください。3分経過後に、再度ガスメーターをご確認頂き、表示ランプの点滅が消えていれば、ガスが使えます。

※3分経過後も、ガスが止まったままで表示ランプが点滅している場合は、ガス機器の止め忘れやガスもれが考えられますので、もう一度ガス栓の閉め忘れやガス機器の止め忘れがないか確認してください。

※正常に復帰しない場合や、不明な点がある場合はガス事業者へ連絡してください。

▶ ふだんからガスメーターの位置を確認してください

マンション・アパートの場合



一戸建ての場合



なんだかガス臭い! 最初にすることは?



ルール 16 ガス臭い場合はすぐに連絡。

ガス警報器が作動したり、ガス臭いと感じたときはすぐにガス事業者へご連絡ください。

屋外で…



共用部で…



お部屋の中で…



ガス臭いと感じた時の手順

●火気は絶対使用しないでください。



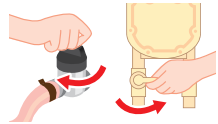
●着火源となる換気扇、電灯などのスイッチに絶対手を触れないでください。



▶窓や戸を大きく開けましょう



▶ガス栓やメーターガス栓を閉めましょう



すぐにガス事業者へ連絡してください!

お名前

ご住所

ご近所の目標

その場の状況



MURORAN GAS

ガスのある暮らしには未来がある



が、スマート!

室蘭ガス株式会社

室蘭市日の出町2丁目44番1号

TEL (0143) 44-3156

<https://www.murogas.co.jp/>

▶もしものために暮らしを見張ります

365日・24時間保安体制…ガスもれ、ガス事故などの緊急時に備えて、係員と緊急車が常時待機しています。

ガス事業者の主な保安体制

保安点検…法令に基づき定期的にお客さま宅にお伺いし、ガスもれ点検や給排気設備の調査を行っています。

おすすめします、安全型ガス機器。



ガスの事故原因の大半がガス機器の操作ミスや
機器・設備の不良によるものです。

そのほとんどは安全装置の付いた各種ガス機器を使用していれば
防げたと考えられます。

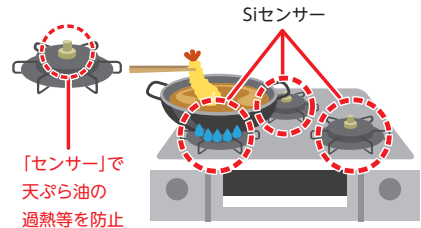
ガスを安全にご使用いただき、ガスによる事故を未然に防止するために、
安全型ガス機器へのお取替えをおすすめします。

立消え安全装置、調理油過熱防止装置、消し忘れ消火機能付き

Si 全口センサー搭載
センサーコンロ

08年4月から製造されているガスコンロ*はすべてのバーナーに
煮こぼれや点火ミスなどで火が消えた時にガスをストップする立
ち消え安全装置、天ぷら油の温度が約 250℃になるとガスを止める
調理油過熱防止装置、消し忘れ消火、早切れ防止機能など、安全
便利機能を搭載。キッチンライフが、さらに楽しく快適になります。

*持ち運びできる卓上一口コンロを除くすべてのガスコンロ。

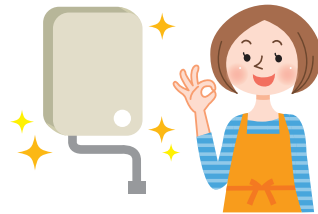


不完全燃焼防止装置付

小型湯沸器

換気不良などでガス機器が不完全燃焼をおこすと、自動的にガスを
ストップさせるのが、不完全燃焼防止機能です。一酸化炭素中毒の
防止にもなり安心して使用できます。

ワンタッチで
点火・出湯・消火の
簡単操作！



密閉式 給湯器・風呂がま

室内の空気を使わない次のようなより安全な機器へのお取替えを
おすすめします。

- 密閉式 (FF式) : ファンの力で空気を屋外から取り入れ、
排気もファンで強制的に屋外へ排出します。

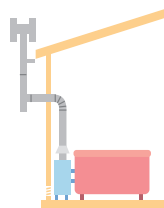


冬季のガス機器使用のご注意

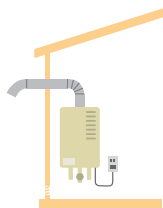


下記のような屋内式の機器で煙突が設置されている場合は…
排気筒（煙突）の状況に十分ご注意ください！

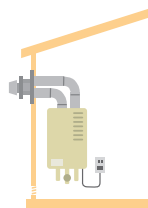
自然排気(CF)式機器



強制排気(FE)式機器



強制給排気(FF)式機器

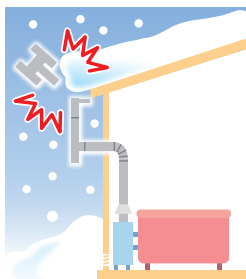


排気筒で排気（FF式は給気も）しています。

排気筒が塞がれると機器が不完全燃焼を起こし、一酸化炭素中毒や機器の故障の原因となり、**大変危険**です。排気筒が**折れている**場合も同様となります。排気筒の**はずれ、穴あき**にも十分ご注意ください。

排気筒トップの降雪にご注意ください。

FFストーブや湯わかし器の排気筒トップが雪に埋まらないように、付近の雪を取り除いてください。雪に埋まったまま使用すると、不完全燃焼の原因となります。

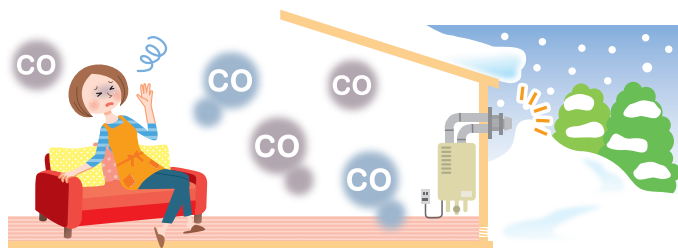


雪下ろし、自然落雪にご注意ください。

屋根等の雪下ろしの際にはガス機器の排気筒に雪や氷が当たらないように十分ご注意ください。また、自然の落雪にも十分ご注意ください。

排気がふさがれると大変危険です。

例えば、ふろがまを1時間使用すると、約16m³の排気ができます。（4.5畳の部屋の容積分となります。給湯器等の湯沸器の場合は3倍の50m³となります。）これは通常排気筒によって外へ排出しますが、万一、排気が塞がれると、たちまちガス機器が不完全燃焼を起こし、一酸化炭素が発生します。排気筒に不備（はずれ、穴あき）があると排気があふれて一酸化炭素中毒に至ることもありますし、機器故障の原因ともなります。



ガス瞬間湯沸器を ご使用のお客さまへのお願い

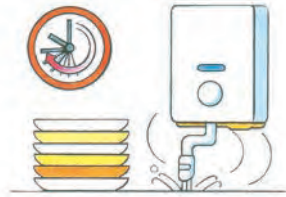


小型湯沸器をご使用する場合は、必ず換気を行なってください。

台所など屋内に取付けられている小型湯沸器を十分な換気をせずにご使用になりますと、不完全燃焼による一酸化炭素中毒をおこす恐れがあります。ご使用になるときは、換気扇やレンジフードのファンを回すか窓を開けて十分に換気をしてください。



不完全燃焼防止装置のついていないガス湯沸器は、早めのお取替えをおすすめいたします。



小型湯沸器の長時間の連続使用はさげましょう。

使用中に火が消えたら

換気が十分でも使用中に火が消える場合は、不完全燃焼している恐れがあります。

右記の現象が現れた場合は、継続して使用すると不完全燃焼による一酸化炭素中毒の恐れがあり、大変危険です。ただちに使用を中止してください。

- ご使用中、火が消える
- 前板の塗装が部分的に黒く変色している
- ご使用中に不快いやなにおいがする
- 炎があふれている
- その他、ご使用中に機器本体の異常な過熱や、ススが付着しているなど



このような
使用はしないで
ください。



すぐに使用を中止して、お買い上げ店、またはガス事業者にご連絡ください。

不完全燃焼防止装置付の湯沸器へのお取替えをおすすめします。

不完全燃焼防止装置は、換気不足や老朽化により不完全燃焼が起きる前にガスをしゃ断し、燃焼をストップさせます。

不完全燃焼防止装置付湯沸器であっても、安全装置が機能した際に再点火を繰り返して使用するのは危険です。使用を中止してお買い上げ店、またはガス事業者にご連絡ください。

STOP!



危険!!

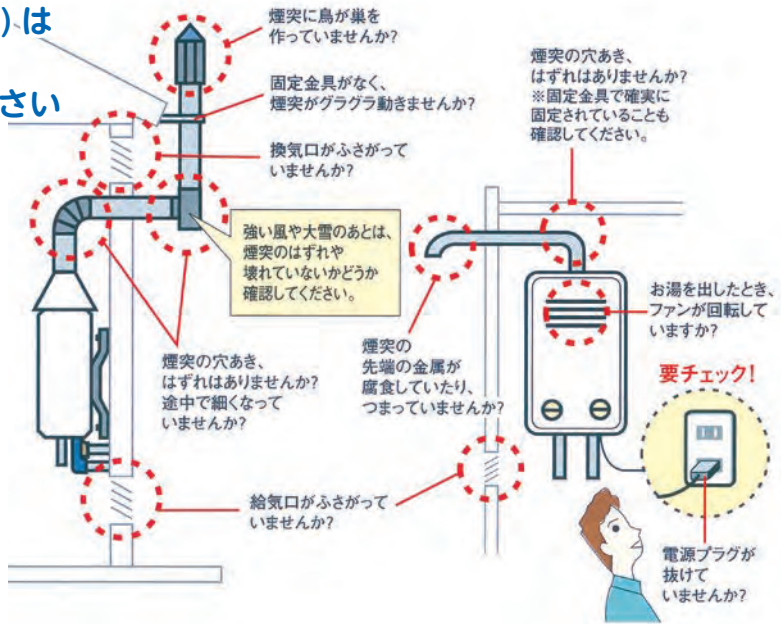
換気が不十分な状態でガス機器を使用すると、不完全燃焼による

煙突が
ある

強制排気式 (FE 式)・自然排気式 (CF 式)
ガス瞬間湯沸器をご使用している方へ!

排気筒 (煙突) は 時々点検を 行なってください

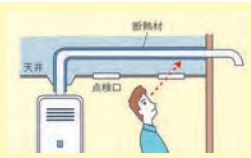
煙突 (排気筒) のついた
ガス瞬間湯沸器を
ご使用の場合、煙突
に不備があると一酸
化炭素中毒になる可
能性があります。



天井裏など、隠れたところも要チェック!

点検口から排気筒 (煙突) に巻いてある断熱材に穴があいてい
ないか、シミがないかを点検してください。

点検できない場合や異常を見つけた場合は、専門家にご連絡く
ださい。



一酸化炭素中毒に注意!

密閉燃焼式 (FF 式・BF 式)・屋外設置式器具

- 屋外で給気と排気を行なう、これらのタイプの機器でも、窓や換気口等の建物開口部から排気が室内に流入し、不快な臭いがしたり気分が悪くなる恐れがありますので、ガス機器使用中は、付近の窓を必ず閉めてください。
- 機器の排気口周辺がすすけていたり、機器使用中に気分が悪くなった場合は、機器が不完全燃焼している恐れがあります。至急、販売店または、ガス事業者にご連絡ください。

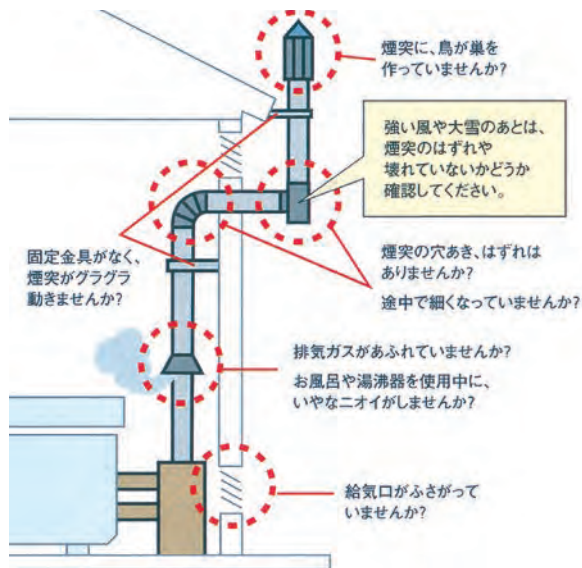
一酸化炭素 (CO) 中毒を起こし、 死亡事故にいたる恐れがあります。

煙突が
ある

自然排気式 (CF 式)
ガス風呂釜をご使用している方へ！

次の点を
日頃から点検を
行なってください

煙突などに不備があると、
一酸化炭素中毒の原因に。
異常を感じたら
すぐに専門家に
改善を頼まないと
危険です！



煙突式風呂釜の使用中は、
キッチンや浴室の換気扇は使用しないで！

お風呂を沸かしているときやシャワーを使っているときに、換気扇を使用すると風呂釜の排気が逆流して、一酸化炭素中毒を起こすことがあります。



屋内にガス風呂釜・湯沸器等を設置するときは……

- 法令により適正な給排気設備の設置が義務づけられています。
- 給排気設備に不備があると一酸化炭素 (CO) 中毒を引き起こす恐れがあります。
- 工事は国で定められた資格が必要です。
- 施工後、正しく設置されたことを表示したラベルが貼付されていることをご確認ください。(小型湯沸器を除く)

安全性の高い機器へのお取替えをお勧めいたします！

安全な密閉燃焼式の機器 (FF 式・BF 式) や不完全燃焼防止装置付きの機器や
CO センサー付きの機器 (FE 式) であれば、一酸化炭素中毒による事故を予防できます。

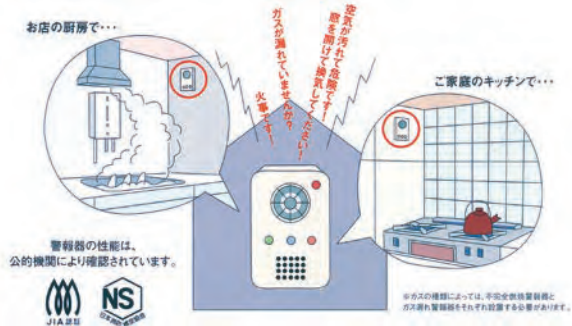
詳しくは、販売店やガス事業者までお問合わせください。

不完全燃焼警報機能付き ガス漏れ警報器を設置しましょう



ご家庭ではガス機器を使用するキッチン、オフィスやお店でも、
給湯室や厨房などに設置しましょう。

ガス漏れのお知らせの他に、ガス漏れや不完全燃焼によって発生した一酸化炭素 (CO) を検知すると、ランプと音声でお知らせいたします。



※ガスの種類によっては、不完全燃焼警報器とガス漏れ警報器をそれぞれ設置する必要があります。

危険！ 一酸化炭素 (CO) はこんなに恐ろしい

ガスが燃えるには、新鮮な空気が必要です。換気不足やガス機器の整備不良による不完全燃焼で発生する一酸化炭素 (CO) は、無色・無臭で気づきにくいものですが、毒性は強力で、少量でも危険です。

空気中の一酸化炭素濃度と吸入時間による中毒症状	
1.28%	1～3分間で死亡
0.32%	5～10分間で頭痛・めまい、30分間で死亡
0.16%	20分間で頭痛・めまい・吐き気、2時間で死亡
0.04%	1～2時間で前頭痛・吐き気、2.5～3.5時間で後頭痛

0.04%の一酸化炭素は、5mlの普通の浴室で2リットルのペットボトル1本ほど。それでも吐き気などがおきます！

ガス機器をご使用の際は換気扇を回す、窓を開ける、給気口を確保するなど、使用するガス機器に応じた換気を十分にしてください。
換気が不十分な状態でガス機器を使用すると、不完全燃焼による一酸化炭素 (CO) 中毒を起こし、死亡事故にいたる恐れがあります。

- ガス機器やガス設備は、日頃から点検・お手入れをしてください。これがガス事故を防ぐ基本です。
- 不審な点が見つかったり、不安な点があったらガス機器の販売店や下記の連絡先などに連絡して、専門家による点検や改善をしてください。



ガスのある暮らしには未来がある



がスマート!

室蘭ガス株式会社



室蘭市日の出町2丁目44番1号 TEL (0143) 44-3156

<https://www.murogas.co.jp/>